

第36回学校給食作文コンクール 最優秀作品集



いただきます!



令和2年10月

苫小牧市学校給食会

**We Love
School Lunch!!**



「コロナを越えて」 給食作文コンクールの審査を終えて

第三十六回学校給食作文コンクール審査委員長

苦小牧市立明野小学校長 上 埜 幸 喜

今年度も学校給食作文コンクールが開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校生活が困難な中、応募されたすべてのみなさんは、心より感謝を申し上げます。

第三十六回目の今年度は、小学校では五十九点、中学校では三十六点、計九十五点の応募がありました。その中で、入賞されました十六名のみなさん、誠におめでとうございます。たくさん素晴らしい、気持ちの伝わる作品が多数ございましたので、審査員一人一人の採点や評価がまちまちで、審査には慎重をきました。

このコンクールは、苦小牧市の給食に視点をおいて食の大切さをあらためて考えてみる、給食に対する自分の思いや願い、課題等を見つめてみる、また、給食に携わる人たちの様子や気持ちに目を向ける、等の目的があります。

入賞された低学年のみなさんの作品には、好きなメニューとその理由、給食をいつも楽しみにしていることや大切な時間であること、センターの私たちの苦労に対する感謝やその苦労に思いをはせ好き嫌いをなくすことに前向きになれたことなど、読んだ人の気持ちをほっこりさせるような内容が綴られていました。

高学年のみなさんの作品では、給食の仕事について自分なりに本やインターネットで調べ新しい発見があったことやホッピカレーでの学級の温かな様子、食材の生産者や給食にかかわる人たちへの感謝、あいさつや給食に込めた思い、メニューについてのアイデアの発信等、多彩な視点で書かれています。

中学生のみなさんの作品では、外国の給食事情に目を向け日本の給食のよさを再確認したことやカロリーが明記されていることのありがたさ、給食当番の奮闘ぶり、表現豊かなTOP3メニューの紹介等、グローバルな視点や独特の視点、加えて読む人を引き込ませる書き方が印象に残りました。学年に応じた素晴らしい作品が今年度も多く、一人一人の様々な考え方や発想、表現力に感心させられた次第です。

入賞された皆さんの作品にも、惜しくも入賞を逃した人たちの作品にも、今年度は「コロナのために給食時間に会話ができない」、「早く元に戻ってみんなと楽しく給食が食べたい」、というような文章をたくさん見かけました。給食ばかりではなく、学校生活においてはマスクをつけたり、手洗いを頻繁にしたりと感染拡大に気をつける生活が続いています。これからもコロナウイルスと向き合う生活しづらい我慢の毎日になります。ですが、食の大切さをいつも心がけ給食をしっかり食べて、コロナに負けない健康な体をつくっていきましょう。そしていつか、コロナを越えて、もと通りの楽しい給食の時間が戻ってくることを心から願いたいと思います。

第三十六回学校給食作文コンクール 入賞作品

【最優秀賞】

小学生の部

- 一学年の部
美園小学校 一年一組 池田 優花 「きゅうしよくだいすき」
- 二年生の部
拓勇小学校 二年三組 京極 大空 「大好きな きゅうしよく」
- 三年生の部
美園小学校 三年二組 鹿嶋ことり 「楽しみなきゅう食」
- 四年生の部
拓進小学校 四年四組 白川 暖真 「給食のおいしさと、楽しみ」
- 五年生の部
拓進小学校 五年四組 谷村 光璃 「苦小牧のホッキ」
- 六年生の部
該当なし

中学生の部

- 一学年の部
緑陵中学校 一年二組 二瓶 晴嬉 「日本の給食は世界一！」
- 二年生の部
該当なし
- 三年生の部
苦小牧東中学校 三年二組 渡辺 華珠 「一つの楽しみ」

【優秀賞】

小学生の部

- 一学年の部
美園小学校 一年二組 渡邊 陽菜 「がんばるぞ、きゅうしよく」
- 二年生の部
拓勇小学校 二年四組 丹波 蓮翔 「しあわせな時間」
- 三年生の部
樽前小学校 三年一組 永岡 英 「給食わくわく」
- 四年生の部
明野小学校 四年二組 佐藤 凜空 「食事のあいさつ」
- 五年生の部
澄川小学校 五年三組 中島 真生 「給食に思いをこめて」
- 六年生の部
泉野小学校 五年三組 近藤 芹羽 「食べてみたい全国の郷土料理給食」
- 美園小学校 六年二組 佐々木幸太朗 「給食は栄養たっぷり愛情たっぷり」

中学生の部

- 一学年の部
光洋中学校 一年三組 杉山 大喜 「伝えたいコト」
- 和光中学校 一年二組 辻川 爽咲 「給食当番の奮闘」
- 二年生の部
該当なし
- 三年生の部
該当なし

応募点数 小学生59点

中学生36点

合計点95点

目次

《小学生の部 最優秀賞》

- 一学年の部 題名「きゅうしよくだいすき」……………1
美園小学校 一年一組 池田 優花
- 二学年の部 題名「大好きなきゅうしよく」……………1
拓勇小学校 二年三組 京極 大空
- 三学年の部 題名「楽しみなきゅう食」……………2
美園小学校 三年二組 鹿嶋ことり
- 四学年の部 題名「給食のおいしさと、楽しみ」……………3
拓進小学校 四年四組 白川 暖真
- 五学年の部 題名「苦小牧のホッキ」……………4
拓進小学校 五年四組 谷村 光璃

《中学生の部 最優秀賞》

- 一学年の部 題名「日本の給食は世界一」……………5
緑陵中学校 一年二組 二瓶 晴嬉
- 三学年の部 題名「一つの楽しみ」……………6
苦小牧東中学校 三年二組 渡辺 華珠



小学生の部 最優秀賞

《二年生の部》

美園小学校 一年一組 池田 優花

「きゅうしよくだいすき」

わたしは、きゅうしよくがだいすきです。きゅうしよくのじか
んになるのがたのしみです。おなかぺこぺこなので、すばやく
したくをします。

どんなメニューもおいしいから、のこさず食べています。とく
にすきなものは、さばのみそにとコロツケです。さばのみそには、
ごはんによくあつてだいすきです。コロツケは、サクサクしてす
きです。なかみもたのしみです。たべたことのないものもおいし
いです。きれいなものがたときは、きゅう

しよくセンターの人が、いつしようにけんめい
つくってくれたから、のこせないとおもつ
て、がんばってたべています。ともだちと
たべると、たのしくなってもっともつとお
いしくなります。

きゅうしよくをいつもおいしくつくってくれて、ありがとうご
ざいます。これからも、のこさずたべたいです。



《二年生の部》

拓勇小学校 二年三組 京極 大空

「大好きなきゅうしよく」

「やったあ！きゅうしよくだあ！」

みんなが好きな時間は、休み時間だと思っけれど、ぼくの好き
な時間は、きゅうしよく時間です。好きなメニューは全部です。
なぜなら、全部おいしいからです。

ぼくは、きゅうしよくをのこしたことがあります。だって、
毎日おいしく作ってくれるきゅうしよくセンターの人が、心をこ
めて作ってくれているからです。それに、ぼくの知らない所で、
ごはんをたべられない人もいると、お母さんが言っていました。
だから、毎日たべられるきゅうしよくを楽しみに、ぼくはたべて
います。

ぼくが、ふしぎだなと思うのは、こんなにたくさんきゅうし
よくをどうやって作っているのだろう、ということ。おうち
のごはんは、家ぞくの分のごはんしか作らないけれど、クラス
みんな、学校のみんな、それに、とまこまの学校全部のごはん
つてすごいと思います。ぼくには、そのりょうがそうぞうできま
せん。学校のきゅうしよくの先生が、大きなおたまを見せてくれ
ました。どうやってまぜるんだろう。きつと手がいたいだろうな。
そんなことを考えると、きゅうしよくセンターのおしごととも知
りたくなりました。きつと、すごい力だと思ひます。

みんなでたべるきゅうしよくは、まほうのようにみんなをえが
おにします。今は、コロナでおしゃべりができないけれど、みん
なでたべると、もっとおいしくなります。

ぼくは、これからも、毎日おいしいきゅうしょくが、たべられることにかんしゃしていいこうと思います。どんなおいしいきゅうしょくが出るか、楽しみです。

《三学年の部》 美園小学校 三年二組 鹿嶋ことり

「楽しみなきゅう食」

わたしは、きゅう食が大スキです。家でも学校と同じようにたくさん食べています。

毎日どんなきゅう食が出るのか、こん立表を見て食べたくなってきました。

わたしは、きゅう食の中で一番温食がスキです。一年生の時に先生がたくさん入れてくれて、いろいろな温食がスキになりました。

家では食べられない味がたくさんあります。スキなメニューは、「さつまじる」と「きのこうどん」です。さつまじるは、野さいとこんにやくとさつままいものサイズが大きくて食べごたえがあります。大きいさつままいもが入っていた時はすごくうれいのです。きのこうどんは、まいたけ、しめじ、野さいがたくさん入っていて、どれも味がよく出ているからです。とくにわたしはきのこがスキなので、こん立表を見たらウキウキします。

きのこ図かんを買って食べたいきのこを調べています。おいしいスキのこがたくさんあって、しょう来食べるのが楽しみです。しかし、三年生になってさんねんな事がふえました。それは、

みんなに温食のこらないようにいきわたるようになって、楽しみにしているおかわりができなくなってきました。まわりの友だちを見ると、「きらいな食べ物をのこしている人」、「食べきれない人」がいるように思います。わたしは、おかわりがしたいのにのこしている人がいると、「わたしなら食べられたのに。」と思ってしまった、悲しい気持ちになります。

そこで、どうしたらみんながきゅう食を食べられるようになるか考えてみました。

一つ目は、もる人に自分の食べられるりようをしつかりたえてみる事です。そうすることで食べきれない人がへると思います。二つ目が、きらいな食べ物を家で食べる練習をすることです。練習することができれば、学校で食べられるようになるかもしれないし、のこすくらいなら食べない方がいいと思います。

三つ目は、きゅう食の時間を長くすることです。長くなればきらいな食べ物もがんばって食べる時間がふえるし、時間切れです人もへると思います。

もし、この作せんが成こうしたら、わたしにおかわりのチャンスがまたくるかもしれせん。

こん立表を見ると、「苦小牧産の食材」が書いてあります。しめじが苦小牧産だと知りました。わたしはきのこがスキなので、苦小牧のいろいろなきのこを作っている会社ではたらかたいと思います。

わたしの食べるきゅう食を毎日作ってくれる人がいます。こん立を考えたたり、大きななべをかきまぜたり、いろいろな仕事があるとあります。みんなによるこんでもらえるように、これからのこさずに食べていきます。そして、チャンスがあれば、おかわりをしていきたいです。

「給食のおいしさと、楽しみ」

ぼくは、毎日給食をととても楽しみにしています。味はとってもおいしいし、それに、給食を作ってくれている人のがんばりも伝わってきます。ぼくは今、四年生だけど、おいしくなかった給食は、一度もありませんでした。ぼくは、給食の中でカレーとラーメンが大好きです。のこしたことは一回もなく、毎日おかわりを一回以上しています。

こんなおいしい給食は、どうやって作っているのかきょうみをもったので、調べてみました。インターネットで調べると、まず作る前に丁寧に手を洗うそうです。食べるみんなが病気になるないようにやってくれているのが、とても分かります。

次に、えいようしさんが、えいようバランスを考えて、こん立を作っているそうです。そして、ざいりようのじゅんびをして、調理を始めるそうです。調理は、きかいと人の手を使って作るそうです。調理が終わったら、料理をクラス分に分けて、各学校へとどけてくるそうです。

ここで終わると思いますや、もどってきた食器を洗うところまで、一日でやるのです。ここまで時間がかかることを毎日やっているのです、とても大変だなあと思いました。

調べて思ったことは、毎日たくさんの人たちのおかげで、おいしい給食が食べられていることを知れて、すごくうれしかったです。

さらに、ぼくは、こん立作りにもきょうみをもったので、こん

立作りの流れも調べてみました。最初に、こん立作成のき本条件（予算・食材など）を検討するそうです。その後にはバランスなども考え、最後に給食センター所長がこん立の最終決定をして、こん立が完成するそうです。

こん立作りは、いろいろ考えられていることを知って、すごいなあと思いました。ぼくたちの体のことを考えていてくれて、とてもうれしかったです。

給食のこん立を考えてくれる人、作っている人には、とても感謝しています。ぼくは、これから給食を何があってもこのさず、いっぱいおかわりをして、作っている人の苦ろうのむだにならないようにしたいと思います。

ぼくは、給食が大好きです。



《五学年の部》

拓進小学校 五年四組 谷村 光璃

「苦小牧のホッキ」

「クラスの仲間と食べるご飯は、どうしてこんなにおいしんだらう？」

今、感染が拡大している新型コロナウイルス。コロナのせいで分散登校だったところ、給食をクラス全員で食べることが困らなくなってしまった。今、学校の給食は、「温食は使い捨て手袋を着けないと、盛り付けをしてはいけない。」「自分の給食は自分で持つていく。」など、さまざまないやぐがあります。おしゃべりは禁止されていますが、クラスみんなで食べることができるようになりました。コロナウイルスが完全に終息したら、給食を食べるときに、はんの形にしてみんなでおしゃべりしながら、楽しく給食を食べたいと思っています。

その給食のメニューの中でも私が一番好きなのは、「ホッキカレー」です。私のクラスでは、ホッキカレーの日、おかわりをする人がふえます。とっても人気です。いつもなら、じゃんけんです勝った人は、「やったあ！」と歓声を上げ、負けた人は「ガックリ」と悲しむという感じですが、ホッキカレーの日のおかわりは、みんなで少しずつ分け合って食べます。だから、みんな大満足です。ホッキカレーは、地物のホッキを使っており、水あげ日本の苦小牧のホッキが入ったカレーを食べられるのは、とても嬉しいです。

しかし、私達が食べているこのホッキは、苦小牧の漁師の方々がとってきてくれているということを、今まであまり考えずにホ

ツキカレーを食べてきました。でも今は、苦小牧の漁師の皆さんに感謝しています。そのきっかけは、私のおじいちゃんの実家が漁師で、ホッキ漁も営んでいたと知ったからです。私の身内の人達が命がけでとってきてくれたホッキが、給食のホッキカレーの中に入っていると思うと、私にとって、またちがったホッキカレーというものが見えてきます。

ホッキは、正式名称をウバガイというそうで、子どもに十分な栄養をとらせることができなかったところに、かんそうさせたホッキ貝を食べさせたことから、その名前が付いたと言われています。

ホッキには、うま味成分がたっぷり含まれていて、栄養豊富な貝なので納得です。また、アイヌの人々にとっても貴重な食料で、子ども達はホッキの貝がらに穴を開けてヒモを通して、ゲタのようにポコポコ歩いて遊んでいたそうです。

このように、私達にとつて身近なホッキが、もっと給食のメニューの中で使われてほしいです。





中学生の部 最優秀賞

《二学年の部》

緑陵中学校 一年二組 二瓶 晴嬉

「日本の給食は世界一！」

アメリカから我が家にホームステイにやって来た高校生のカーソンは、緑陵中で日本の給食を初めて食べて、とても感激していました。

別の年に来たルピタやチェルシーも、苦小牧で給食を食べ、メニューの豊富さに驚き、

「あたたかくて、家庭的でおいしい！」と、大喜びしていました。

私は、あまりにもアメリカの学生達が絶賛するので、「外国の給食はどうなっているのだろう。」と、彼らに話を聞きました。

アメリカでは、カフェテリアでランチをとるそうです。ハンバーガー、スパゲッティ、ホットドッグ、ピザなどのメインメニューに、ステイック野菜やフルーツ、スナック菓子、豆類などのサイドメニューがあり、その中から自分で好きな物を選ぶそうです。メニューは少なく、毎日ピザしか食べないなど、かたよりもおおきいようですが、毎日ピザでは飽きてしまうし、栄養バランスはどうかかと心配です。

去年の夏休みにカンボジアを訪問し、小学校を見学した姉の話

によると、カンボジアではお昼ご飯を家で食べる子と、学校で食べる子がいるそうです。学校でランチを食べるには、その場でお金を払う必要があり、お金を持っていないため、お昼ご飯を食べられない子もいるそうです。

ニュージールランドには、給食というシステムがなく、お弁当を持つていくことが多いそうです。（お弁当といっても中は、お菓子やフルーツ、パンなど）しかし、今年から国の一部の小学校で学校給食を試験的に導入するそうです。

これは、日本が給食制度を始めたのと同じく、家庭で十分な栄養を上手く摂ることができない子ども達を助けるという目的からです。

少し調べてみると、どうやら私達が毎日食べている給食は、世界にも誇れるものだと思えました。ただ栄養バランスがよいだけではなく、地域食材をもふんだんに盛り込み、飽きないように工夫して調理される豊かなメニュー。そして、これらのメニューを低コストで提供している日本の給食は、まさに世界一。

苦小牧でも、ホツキカレーやハスカップゼリーなど苦小牧らしいメニューがあったり、市内の小学生が考案したメニューが実際に提供されたりしています。日本の中でも地域ごとに特色があるというのも、びっくりするかもしれません。

ふと日本の外から給食を考えると、いつも当たり前に食べている給食はどの国よりも工夫されていて、私達の健康を考えて作ってくれたものを食べられるのはとても幸せだと思いました。

給食センターで毎日おいしい給食を作ってくださいとさる皆さん、いつもありがとうございます。ごちそうさまです。皆さんの給食は、世界一です。どうか世界一という自信を持って胸を張り、これからも給食を作り続けてください。

「一つの楽しみ」

「お腹すいた。」

朝ご飯をすっかり食べたはずなのに、いつも授業中に思うのです。つい、お腹がなつてしまうこともあります。そして、学校での「一つの楽しみ」、給食の時間になります。

給食を毎朝チェックしているのですが、自分の好きなうどん、タルトなどが出ると、とてもわくわくするのです。自分の苦手なものが出る日は、がんばって食べようと心の準備をしています。私がこんな風に給食を楽しみになったのは、中学校に入学してからでした。

小学生のときは、食べることもよりも昼休みにみんなと遊ぶことの方を一番に考えていました。そのため、給食はいつも残して、好きなものしか食べませんでした。授業時間が短いということもあり、お腹があまりすかなかつたのかもしれない。でも、大好きなスイーツやおかずをかけて、じゃんけんで勝負するのが楽しかったです。給食を作ってくれている方々が、その表情を見ることができないのは残念ですが、みんないい笑顔をしているのです。いつか給食を作っている方々にも、その笑顔が伝わればいいなと思います。

私は中学生になって、改めて給食の大切さを感じました。まず、どこで生産されたものなのか、どのくらいのカロリーなのか、しっかりと記入されているということ。中学校では授業時間が増え、とてもお腹がすきます。また、カロリーが記入されてい

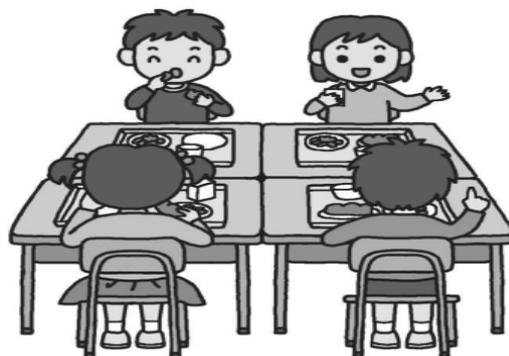
ることによって、一日に必要なエネルギーを取り入れることができるし、少し体が気になり始めても、自分で意識することができるとのことです。

今年も、新型コロナウイルスの影響で学校が休校になり、給食も食べられませんでした。材料が余り余って大変だったと思います。私も朝と昼を一緒にして食べることもあり、給食が少し恋しくなりました。こうして長く学校に行っていないと、授業の大切さ、友達と会うことの楽しみ、給食の美味しさを改めて必要と感じるいい機会だったとも思いました。

苦小牧では、ホッキを使ったホッキカレーが出されますが、他にもその地域のものが出るので、月に一回別の市や県の料理を出すのもおもしろいと思います。また、日本以外の国の料理を出しても、ミニ旅行に行けた気がして、生徒の給食への興味がわくことでしょう。

最後に、いつも給食を作っていたいただきありがとうございます。九年間、給食を食べ続けてきて、その大切さを感じました。今まで残していたことが、本当に申し訳ないと思っています。

高校生になったらこの給食を食べられないのかと、少し悲しくなりますが、卒業後もしっかりとバランス良く栄養をとり、偏りのない食生活をしていこうと思います。





苫小牧市学校給食会

令和2年10月発行

第1学校給食共同調理場

〒053-0053 苫小牧市柳町1丁目3番5号 0144-57-5881

第2学校給食共同調理場

〒059-1272 苫小牧市のぞみ町2丁目7番3号 0144-67-1815